

3.3 アジア船主協会 (ASA)

3.3.1 ASF 総会

第 25 回アジア船主フォーラム(ASF)総会は、中国船協の主催により、平成 28(2016)年 5 月 18 日から 20 日にかけて、中国・上海で開催された。当協会から、工藤泰三会長、池田潤一郎・村上英三・小林道康・小田和之各副会長、小野芳清理事長、関根知之理事他が出席する等、アジア 8 地域、13 船協(日本、韓国、中国、台湾、香港、ASEAN(ブルネイ、インドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)、豪州、インド)から約 170 名の代表が参加した。

ASF は、平成 4(1992)年に第 1 回総会(当協会主催)を開催して以来、メンバー国/地域の船主協会が北から南の順で毎年議長を回り持ちしながら総会を開催しており、毎年の年次総会の際に 5 つの常設委員会(船員、 SHIPPING・エコノミクス・レビュー、船舶保険・法務、航行安全・環境、シップ・リサイクル)がそれぞれ中間会合を開催している。5 つの常設委員会の構成および各委員会への当協会代表(平成 28(2016)年 5 月 18 日時点)は【資料 3-3-1-1】のとおりである。

第 25 回 ASF 総会では、総会前に各常設委員会の個別会合が開催され、主要議題の状況について意見交換された。その後の総会においては、前年度決算・当該年度予算や次期議長および副議長等、ASF の組織に関する事項が審議・了承され、更には ASF の現行組織をより適切に反映すべく、名称をアジア船主協会(ASA)とすることが正式決定された。また、各委員会委員長から 1 年間の活動概要が報告された。総会の後には、ICS 等の国際海運団体や、造船・船級団体等と意見交換する「SHIPPING・フォーラム」が開催され、海賊、独禁法適用除外、海上労働条約、シップリサイクルといった主要課題について活発な議論が行われた。

総会終了後には、ASA への名称変更を発表するとともに、海賊問題、プレステイジ号判決、スエズ・パナマ両運河通航料問題等に関する ASF の意見をまとめたプレスリリース(【資料 3-3-1-2】参照)が発表された。

次回第 26 回総会は、平成 29(2017)年 5 月に台湾船主協会の主催により、台湾・台北で開催される予定である。

3.3.2 各委員会における活動状況

(1) SERC (SHIPPING・エコノミクス・レビュー委員会) 中間会合

SHIPPING・エコノミクス・レビュー委員会(Shipping Economics Review Committee: SERC/事務局:当協会)は、平成 29(2017)年 3 月 10 日に福岡県・福岡市で第 29 回中間会合を開催し、ASA メンバーであるアセアン、中国、台湾、香港、日本、韓国各船協の代表 21 名が出席した。

同会合では、村上英三委員長(当協会副会長)が議長を務め、海運各トレードの状況や、環境規制、贈収賄問題などの議題について外部識者による講演を交えた意見交換が行われた他、船社間協定に対する独占禁止法適用除外問題、パナマ運河通航料問

題についても率直に議論された。(会議の概要は【資料 3-3-2-1】、出席者は【資料 3-3-2-2】参照)

(2) SC(船員委員会)中間会合

船員委員会(Seafarers Committee:SC)は平成 28(2016)年 12 月 13 日に中国・広州で第 22 回中間会合を開催した。同会合では、中国、台湾、香港、日本、アセアンの各船協が出席し、Fu Xiangyang 委員長(中国船協)の下、国際労働機関(ILO)海上労働条約や、船員の訓練及び資格証明並びに当直の基準に関する改正国際条約(改正 STCW 条約)に係る各国の取り組み状況等について意見交換が行われた。

(3) SILC(船舶保険・法務委員会)中間会合

船舶保険・法務委員会(Ship Insurance and Liability Committee:SILC)は平成 29(2017)年 3 月 7 日に香港で第 22 回中間会合を開催し、中国、台湾、香港、日本、アセアンの各船協が出席した。同会合では、Robert Ho 委員長(香港船協)の下、環境損害に関するフランス国内法、欧州における船主責任制限制度、プレステージ号に関するスペイン最高裁判決の影響等に関して意見交換が行われた。

(4) SNEC(航行安全・環境委員会)中間会合

航行安全・環境委員会(Safe Navigation and Environment Committee:SNEC)は中間会合を以下のとおり開催し、Esbén Poulsson 委員長(シンガポール船協)の下、バラスト水および沈殿物の規制および管理のための国際条約(BWM Convention)、海賊問題、温室効果ガス削減問題など海上安全・環境保護に関連する諸課題について意見交換が行われた。

第 31 回中間会合:平成 28(2016)年 9 月 23 日 於 シンガポール

(中国、台湾、日本、韓国、アセアンの各船協が出席)

第 32 回中間会合:平成 29(2017)年 3 月 9 日 於 福岡

(中国、香港、日本、韓国、アセアンの各船協が出席)

(5) SRC(シップ・リサイクル委員会)中間会合

シップ・リサイクル委員会(Ship Recycling Committee:SRC)は、第 20 回中間会合を平成 29(2017)年 3 月 27 日に中国・北京で開催し、台湾、香港、観光、日本、アセアンの船協および ICS の代表者がオブザーバーとして出席した。同会合では、Dr. C. H. Yeh 委員長(台湾船協)の下、香港条約(シップリサイクル条約)の早期発効に向けたアクションプランの他、EU 規制やシップリサイクルヤードの改善、SRC の今後の活動課題について意見交換が行われた。

3・3・3 ASA 会長会議

ASA 加盟船協会長で構成される ASA 会長会議は、平成 28(2016)年 5 月 18 日に中国・上海で ASF 総会に併せ第 19 回会合を、同年 11 月 28 日にシンガポールで第 20 回会合をそれぞれ開催した。

いずれの会長会議も、次期 ASA 事務局長選任問題や予算執行状況、次年度予算案といった ASA の運営に関わる問題と、ASA の活動活性化に向けた方策等について議論された他、各常設委員会の活動について意見交換された。